

● 診療科の特色

1. 皮膚腫瘍の診断・治療 : ダーモスコピー、皮膚超音波検査などの非侵襲的検査や生検によって診断を行います。疾患によっては遺伝子診断も適用されます。特に悪性腫瘍では、画像診断や早期のリンパ節転移を同定するセンチネルリンパ節生検などを用いて病状や進行度を正確に把握し、過不足のない適切な治療をこころがけます。外科的治療が中心となりますが、病状に応じて放射線療法、化学療法も適用します。悪性黒色腫をはじめとする種々の進行期皮膚悪性腫瘍に対して、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬による治療が行われています。
2. 皮膚外科手術・処置 : 外科的治療を要する皮膚疾患の治療に積極的に対応しています。良性および悪性の皮膚腫瘍、母斑、重症軟部組織感染症、膿皮症、などが適応となります。
3. 難治性皮膚疾患(自己免疫性水疱症、乾癬、重症アトピー性皮膚炎、など)の診断・治療 : 視診に加え、皮膚病理組織検査、蛍光抗体検査、血清学的手法などで診断します。遺伝性皮膚疾患では他施設との連携のもとに遺伝子診断を行うこともあります。疾患によっては薬物療法のほか、紫外線療法などの理学療法も併用して治療します。自己免疫性水疱症、乾癬、じんま疹、重症アトピー性皮膚炎、掌蹠膿疱症、化膿性汗腺炎、など様々な難治性皮膚疾患に対して、生物学的製剤や分子標的薬の適応が広がっています。
4. 皮膚病変を伴う全身性疾患の診断・治療 : 膠原病、血管炎、血液疾患、など皮膚病変を伴う全身疾患の診断と治療に対応します。しばしば皮疹が全身疾患診断の糸口になります。
5. 他科疾患の皮膚合併症への対応 : 皮膚感染症や薬疹など、他科領域の患者さんに生じた皮膚合併症や皮膚トラブルに対応し、検査、診断と治療を行います。
6. 皮膚科の救急的疾患への対応 : 重症感染症(細菌、ウイルス)、急性炎症性皮膚疾患、など
7. 新生児、小児皮膚疾患への対応 : 皮膚炎、感染症(ウイルス、細菌)などの一般的疾患の他、遺伝性疾患、膠原病、などの診断と治療に関わります。
8. 皮膚病理診断 : 皮膚病理診断に重点を置き、病理部と連携して正確な診断を心がけます。
9. アレルギー検査 : パッチテスト、プリックテスト、MED(最小紅斑量)測定、など

● 診療実績

1. 主要手術件数(手術室で施行したもの) 年間手術件数:269 名

疾患	症例数
良性腫瘍、母斑	140
悪性腫瘍	67
細菌感染症	17
皮膚潰瘍等	9
その他	24

2. 入院主要疾患 臨床統計 年間入院件数:239 件

疾患	症例数
悪性腫瘍	63
良性腫瘍、母斑	37
細菌感染症	54
ウイルス感染症	16
皮膚潰瘍等	12
熱傷・外傷	10

水疱症、膿疱症	7
感染症(その他)	6
薬疹、アレルギー	5
膿皮症	4
褥瘡	2
その他	23

3. 特殊検査法・治療

検査・治療	件数
外来処置室での手術	64
皮膚生検	427
紫外線療法	310
ダーモスコピー	299
皮膚超音波検査	208
パッチテスト	12
プリックテスト	1
MED 測定	0

● 研究業績

論文

- 1) 水田 康生, 瀧川 充希子, 眞部 恵子, 浅越 健治
右拇指先端に生じた線維骨性偽腫瘍
西日本皮膚科 86,2,115-116,2024 年 4 月 1 日
- 2) 藤田 周作, 石井 芙美, 芦田 日美野, 浅越 健治
爪甲縦線・縦溝・縦裂を呈した爪床爪母の上皮性良性腫瘍の 3 例
日本皮膚外科学会誌,28,1,26-27,2024 年 5 月 1 日
- 3) 大塚 倫代, 芦田 日美野, 横尾 賢, 神農 陽子, 福田 能丈, 石井 芙美, 浅越 健治
上腕に生じ皮下血腫と鑑別を要した脱分化型脂肪肉腫の 1 例
皮膚科の臨床,66,6,765-769,2024 年 6 月 1 日
- 4) 浅田 志乃舞, 浅越 健治
【蕁麻疹と蕁麻疹様紅斑】間欠的に増悪する痒疹様皮疹を呈し,好酸球增多症候群との鑑別を要した Wells 症候群
46,7,648-653,2024 年 6 月 1 日
- 5) 浅越 健治
【FLAP!顔面の皮弁術パーフェクトガイド】(Part1.)最初にマスターしたい基本の皮弁(case5)回転皮弁
Visual Dermatology,23,12,1140-1142,2024 年 11 月 24 日
- 6) 藤澤 康弘, 吉岡 靖生, 吉野 公二, 藤村 卓, 内藤 陽一, 増澤 真実子, 大芦 孝平, 中野 英司, 加藤 裕史, 武藤 雄介, 古賀 弘志, 宮垣 朝光, 内 博史, 中村 泰大, 浅越 健治
皮膚がん診療ガイドライン第 4 版 皮膚血管肉腫診療ガイドライン 2025
日本皮膚科学会雑誌,135,3,557-603, 2025 年 3 月 20 日

学会発表

- 1) 持続性紅斑を伴った全身型若年性特発性関節炎の 1 例
石浦 信子
第 292 回日本皮膚科学会岡山地方会

2024 年 4 月 27 日

- 2) ペムブロリズマブ投与後に生じた水疱性扁平苔癬の1例
池澤 勝吾
第292回日本皮膚科学会岡山地方会 2024年4月27日
- 3) 縦隔リンパ節にサルコイド反応を認めた外陰部乳房外 Paget 病
横溝紗佑里
第40回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 2024年5月10日
- 4) 多中心性に病変を認めた男性陰部乳房外 Paget 病症例の検討
横溝 紗佑里
第123回日本皮膚科学会総会 2024年6月6日
- 5) 指間に生じた硬化性神経周膜腫
池澤 勝吾
第39回日本皮膚外科学会総会・学術集会 2024年7月6日
- 6) 丹毒に続発し四肢の多発筋間膿瘍を生じた劇症型溶血性レンサ球菌感染症の1例
池澤 勝吾
第293回日本皮膚科学会岡山地方会 2024年9月1日
- 7) 孤立性の水疱、膿疱が繰り返し出現した乾癬性関節炎の1例
石浦 信子
第76回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2024年9月7日
- 8) CAR-T療法後に多発性の浸潤性紅斑を呈した2例
村田 愛美
第76回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2024年9月7日
- 9) 限局型膿疱性乾癬患者 に発症した水疱性類天疱瘡(BP)の2例
池澤 勝吾
第294回日本皮膚科学会岡山地方会 2025年1月18日
- 10) 皮疹が遷延し皮膚T細胞リンパ腫(CTCL)との鑑別を要したモガムリズマブ(MOG)による薬疹
村田 愛美
第294回日本皮膚科学会岡山地方会 2025年1月18日

講演会

- 1) 岡山県地域医療連携セミナー 2024年5月21日
石浦 信子
- 2) 岡山県皮膚科治療ワークショップ 2024年7月5日
石浦 信子
- 3) アトピー性皮膚炎治療検討する会 2025年2月6日
石浦 信子

座長

- 1) Cross Allergic Webinar in MIMASAKA 2024年4月11日
浅越 健治
- 2) 岡山県地域医療連携セミナー 2024年5月21日
浅越 健治
- 3) 御津医師会学術講演 2024年6月4日
浅越 健治